

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	4単位
科目コード 301310	科目名 シューズ デザイン I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
----------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基礎段階から、より具体的な素材別、アイテム別の流行に沿ったデザイン発想力を養う

【授業計画】

1. シーズン毎の素材をテーマに、具体的な課題によるデザインスケッチ作成
2. 市場調査とレポートによる、デザイン、カラー、素材、爪先/ヒール形状の傾向を捉える演習
3. メンズ、レディースのアイテム別デザインバリエーションの提案
4. 国内、海外の様々なデザインコンテストへ参加

【評価方法】

学業評価・前期末試験 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	3単位
科目コード 301411	科目名 シューズ パターンメイキング I A	授業期間	前期

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
----------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基本デザインのパターン設計技術の基礎を習得する。

【授業計画】

- 紳士短靴基本デザインのパターン設計手順の習得
 - ・ バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など
 - ・ ライニングの設計と縫製のまとめ方
 - ・ 各自、片足トライアルアッパーを作成し、ラストに鈎込み、パターンの確認

- 紳士指定ラストによる各自オリジナルデザインのパターン設計
 - ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・ 各自のパターンから靴を制作し、完成度をチェック

【評価方法】

学業評価・前期末試験 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書
ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書 なし

その他資料 パターンサンプル、アッパーサンプルなど

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	3単位
科目コード 301412	科目名 シューズ パターンメイキング I B	授業期間	後期

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
----------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基本デザインのパターン設計技術の基礎を習得する。

【授業計画】

- 婦人サンダル基本デザインのパターン設計手順の習得
 - ・ バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など
 - ・ ライニングの設計と縫製のまとめ方
 - ・ 各自、片足トライアルアップパーを作成し、ラストに鈎込み、パターンの確認

- 婦人指定ラストによる各自オリジナルデザインのパターン設計
 - ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・ 各自のパターンから靴を制作し、完成度をチェック

【評価方法】

学業評価・年度末試験 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書
ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書 なし

その他資料 パターンサンプル、アップパーサンプルなど

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	3単位
科目コード 301511	科目名 シューズ 制作実技 I A	授業期間	前期

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
----------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>靴制作の実習を通じて基本的な裁断、製甲、底付け、仕上げの工程を理解する。 基礎的な手釣りのセメント製法の製造技術を習得し、作品サンプルづくりに活用する。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>紳士短靴のオリジナルデザインの制作実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自のパターンでトライアルアップパーを作製、ラストに仮釣り込みチェック ・ 各自選定した甲材、裏材での裁断 ・ スキ加工、縫製作業 ・ 先芯、月形芯の作製 ・ 中底、表底の作製 ・ ハンドラスティング ・ 木ヤスリ、グラインダーによる起毛作業 ・ 圧着機による表底接着作業 ・ ヒールの取り付け ・ コバ染色、甲部アンティックなどの仕上げ工程作業

<p>【評価方法】</p> <p>学業評価・80% ・ 授業姿勢 20%</p>
--

<p>主要教材図書 ファッション工芸講座2 シューズ</p>

<p>参考図書 なし</p>

<p>その他資料 工程サンプルなど</p>

<p>記載者書名欄 田中 美登里</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	4単位
科目コード 301512	科目名 シューズ 制作実技 IB	授業期間	後期

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
----------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

靴制作の実習を通じて基本的な裁断、製甲、底付け、仕上げの工程を理解する。
基礎的な手釣りのセメント製法の製造技術を習得し、作品サンプルづくりに活用する。

【授業計画】

婦人短靴のオリジナルデザインの制作

- ・ 各自のパターンでトライアルアップの実習
- ・ 各自選定した甲材、裏材での裁断実習
- ・ スキ加工、縫製作業の実習
- ・ 先芯、月形芯の作製実習
- ・ ハンドラスティングの実習
- ・ 木ヤスリ、グラインダーによる起毛作業の実習
- ・ 圧着機による表底接着作業の実習
- ・ コバ染色、甲部アンティックなどの仕上げ工程の実習

【評価方法】

学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書 なし

その他資料 工程サンプルなど

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14602	科名	シューズデザイン科2年	単位	2単位
科目コード	301610	科目名	シューズ造形 I	授業期間	通年

担当教員(代表):	田中 美登里	共同担当者:	
-----------	--------	--------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

柔軟で自由な発想によるデザイン応用力の強化

【授業計画】

・オリジナル革プリントの制作

(企業協力による素材提供)

無地の見仕上げの革に各自オリジナルの柄を施し、プリント革を製作。

プリント方法は、転写、手描きなど自由に選択

皮革加工後にパンプスを制作しS/Sの東京レザーフェアにて展示

・下駄制作

日本古来の履物である下駄からオブジェ感覚の開放的履物をデザイン・制作。

テーマ、コンセプトを各自で決定しデザインする。

未仕上げの下駄の土台から加工、着色など施し制作。

・ヒール制作

靴のデザインを印象付ける重要なポイントとなるヒールをアッパーのデザインと合わせながらデザイン発想。

それぞれのイメージに合った靴型を選びその形状に合わせながら、角材からヒールを加工していく。

・足型石膏採り

3年生で制作するマイラスト(靴型)の為に各自の足を石膏取りし、よりフィットिंगの良い

ラスト制作をめざす。

足型測定だけでは分からない細部を立体として残し個々の足型の特徴を掴み易くする。

【評価方法】

学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書

ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書 なし

その他資料 参考作品等

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード 301700	科目名 シューズ解剖学	授業期間	後期

担当教員(代表): 田島 智司	共同担当者:
--------------------	--------

教育目標・レベル設定など

多面性を持つ靴と体の関係を「足、運動そして靴」から考察することにより、靴に対する理解度と関心を深める。

講義と演習を通じ、靴や足に触れ、動かし靴と足の客観的な見方を理解する。

1 足について

- ① 解剖学的 体と足
- ② 運動力学的 足と運動
- ③ 足の病理・生理学
- ④ 理想的な足について考える
- ⑤ 問題のある足について考える
- ⑥ 「足」と「靴」との関連性を考える

2 靴について

- ① 靴の分類・整理
- ② 靴の付加価値を考える
- ③ 靴を履く人の気持ち
- ④ 「体のための靴」の意義を知る
- ⑤ 靴による動きの補正

3 靴と足

- ① 足の見立て方
- ② フットベッドの正しい理解
- ③ フィッティングを正しく理解する

評価方法・対象・比重

学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書
講師作成プリント(レジュメなど)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 14602	科 名 シューズデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード` 202200	科目名 シューズ素材論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 宮原 勝一	共同担当者 :
---------------------	---------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

靴に使用される甲材、底材、副資材や、各製法の特徴、道具としての靴型、サイズの仕組みなど、シューズデザイナーとして必要な知識を習得し、製品の仕様書を作成できるレベルを目指す。

【授業計画】

- 1 革の種類と特徴を理解する。(講義)
- 2 合成皮革と人工皮革の特徴を理解する(講義)
- 3 副資材の種類と役割を理解する(講義)
- 4 底材の種類と特徴を理解する(講義)
- 5 靴の製法と特徴を理解する(講義)
- 6 ラストの種類と特徴を理解する(講義)
- 7 サイズとラストの国別の違いを理解する(講義)
- 8 工業製品としての靴づくりのプロセスと製品仕様書の役割と重要性を理解する(講義、演習)

【評価方法】

S~C・F評価 年度末試験(80%) 出欠席、授業態度での評価(20%)

主要教材図書
ファッション工芸講座2 シューズ

参考図書

その他資料 プリント

記載者書名欄 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 14602	科名	シューズデザイン科2年	単 位	2単位
科目コード` 950020	科目名	自由研究 II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>各教科目を基に、さらに高度な技術と創造性を磨く為に、個人テーマにより研究する</p>

<p>授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など</p> <p>◆各種コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ YKKファスニングアワード ・ 台東デザインアワード ・ TLF革のデザイン展 ・ 文化服装学院ファッションコンテスト 服飾工芸部門 ・ その他関連コンテスト <p>◆コラボレーション企画への参加</p> <p>◆美術館、博物館等の見学</p> <p>◆個人テーマによる作品制作</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する</p>
--

<p>主要教材図書</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者署名欄</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14602	科名	シューズデザイン科 2年	単位	1単位
科目コード	305020	科目名	ハンディクラフト II	授業期間	前期

担当教員(代表)： 白戸 薫	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 ハンディクラフト I で学習したクラフトテクニックの応用。エンブroidアリー・布の加工の他にレースのテクニックも含めより高度で広範囲なテクニックの習得を目指す。シューズなどの皮革製品への応用を念頭に、よりクリエイティブな力を養うことを目標とする。

授業概要

*布の加工：レリーフライク表現

- ・イタリアンスモッキング 布の縫い縮め方による新しい表面効果のテクニックの実習
- ・ピンチング 布を裏面からつまみ縫いし、模様をつくるテクニックの実習
- ・ファンシープリーツ 固定したプリーツを部分的に起こし、陰影を表現するテクニックの実習

*レース

- ・ファゴティング 布と布の間をかがりて透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・ニードルポイントレース コードを用いて作った空間に、かがりて透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・クロッシェ 編み物の種類のうち、かぎ針を使ったテクニックの実習
基礎編/モチーフ

*エンブroidアリー

- ・ニードルワーク オリジナルな図案をデザインしキャンバスワークで表現するテクニックの実習（キャンバスワークの応用）
- ・ドロンワークの応用 皮革にスラッシュをあげ、ドロンワークのテクニックでかがりをして透かしの効果を表現する フェルトや皮革で実習

評価方法・対象・比重
 制作物を主な評価とする

主要教材図書 文化ファッション講座 工芸2 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

記載者氏名 白戸 薫

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単位	1単位
科目コード 500220	科目名 デッサンⅡ	授業期間	前期

担当教員(代表) : 一倉 伸夫	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

する静物デッサン・石膏デッサン等を通して物当然の原理・性質を理解し、描写力を養うことによって創造力の基底と。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	複合形の理解と描写	16	
2	複合形の理解と描写	17	
3	複合形の理解と描写	18	
4	質感と調子の理解	19	
5	質感と調子の理解	20	
6	質感と調子の理解	21	
7	質感と調子の理解	22	
8	質感と調子の理解	23	
9	質感と調子の理解	24	
10	質感と調子の理解	25	
11	質感と調子の理解	26	
12	質感と調子の理解	27	
13	質感と調子の理解	28	
14		29	
15		30	

【評価方法】 制作物の評価 30% 試験の評価 20% 出欠の評価 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科	2年	単 位	2単位
科目コード 501410	科目名 シューズデザイン画	I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 河西 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 シューズ基本フォームやテクニックの習得、リサーチからのインスピレーションアイデアをデザインワークに展開し表現力を高める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

[立体の把握と構造、製品図表現] …6コマ

- 足、シューズ形体の理解…靴底・ヒール・トーの関係の描き方
靴のヒールの高さによる、フラット・ロー・ミドル・ハイヒールについて
- ベーシックシューズによるバランスのフォルムを横向き・斜め向きの描き分け

[ディテールデザイン表現] …4コマ

- 彩色テクニックと装飾表現力を身につける、サンダル・ミュールを描く
カットワーク・パッチワーク・コサージュ・リボン等、凹凸のデザイン表現
- 副資材の描き方…ファスナー・バックル・釦等

[素材表現] …3コマ

- エキゾチックスキンなどの特徴ある皮革素材のデザイン表現

[創作デザイン] …14コマ

- テーマに対して資料となる材料を収集し、感覚イメージを創作デザインに表現
- コンテスト応募作品
- ブーツデザイン発想
- スニーカーのデザイン

[時間内課題] …1コマ

- 短時間に課題を彩色画にまとめる

評価方法・対象・比重 [S～C・F 評価]
 評価基準 : 学業評価 80% (課題作品提出物と後期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況、授業態度を考慮)

主要教材図書
 文化ファッション大系「ファッション工芸講座 **シューズ**」文化出版局

参考図書

その他資料 : ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真等

記載者書名欄 河西 恵美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科 2年	単 位	2単位
科目コード 500300	科目名 造形デザイン	授業期間	通年

担当教員(代表)： 北川 陽史	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 ファッション工芸科の各分野において必要とされる立体造形に関する感覚を養成し、広く様々な造形経験を通じて、造形的なセンスと構成力を研鑽することが教育目標となります。一般的な造形・デザインから発展した様々な造形行為への理解を基調に、追体験と実験的制作を通して個人の主張する表現が遂行出来ることを目標とします。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

授業は造形作品(立体作品)の制作が中心になります。

各テーマに対し前提講義と解説をビジュアル資料を中心に展開し、制作に関わる方法論も解説する。

制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例をアドバイスすることで、個人の造形的、空間的感覚の育成、拡張を目指します。

- 線による構成 / 線的要素により造形し、内側と外側の空間を探る。
 木角材を用い造形物を作成 ヒノキ角材(4コマ)
- 身体に寄り添ったモノ / 身体をベースに空間を捉え、モノとして表現する
 面素材(畳一畳分)を用い作成(4コマ)
- 既成物からの造形要素抽出 / 張り子の技法を応用した造形と構成演習。身体との関係性や文化的な役割を検証。
 抽象化した型による相貫形態 身に付けるオブジェ(5コマ)
- 変容する素材からの立体造形 / 造形要素(点、線、面、量感)の変化を表現に用いる。
 アルミ板を用いた立体造形演習。(5コマ)
- 時間の表現 / モノと時間の関係を探る。モノ、又は空間に対する時間軸が及ぼす効果を表現に取り込む。
 映像表現、身体表現、言葉、立体表現、平面表現等(5コマ)
- 「場」からの着想 / 実在の空間から造形の着想を得て、表現する。
 構内の空間を利用し、空間構成を行う。グループ製作(5コマ)

評価方法・対象・比重
 S～C・F評価
 評価基準：学業評価60%、授業姿勢40%
 制作実習における成果物を評価基準の大きな対象と位置づける。造形演習から進展させた造形の理解とその表現を評価し、独創性や独自の加工方法、表現の可能性が感じられるものを評価する。
 実習時の制作姿勢、出席状況なども加味し、総合的に評価する。

主要教材図書
 特になし

参考図書 Visual design(平面・色彩・立体構成)1(改訂新版)日本グラフィックデザイナー協会/六耀社

その他資料 特になし

記載者書名欄 北川 陽史

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	2単位
科目コード 504020	科目名 グラフィックワーク II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 グラフィックワーク I 修了者を対象として、Photoshop では、連続柄の作成・デザイン画の着色ができることを目標とする。
 Illustrator では、ペンツールでオリジナルデザインが描けるようになることを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 連続柄作成 : 講義・実習 3コマ
 ①画像を連続させる ②Illustrator パターンの作成方法 ③オリジナル連続柄の作成
- デザイン画の着色方法 (Photoshop) : 講義・実習 5コマ
 ①ブラシツールでの着色 ②素材写真の貼り付け ③陰影のつけ方
 ④連続柄のいれ方
- ペンツールの使い方 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
 ①直線の描き方 ②曲線の描き方 ③線の修正
- デザインバリエーションの作成 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
 ①ライブペイントの使い方 ②トレース ③デザインバリエーションの作成
- プレゼンテーション : 講義・実習 3コマ
 ①パワーポイントの使い方 ②アニメーションの使用方法 ③発表原稿の作成
 ④プレゼンテーション
- エクセルの基本 1コマ
 ①表の作成 ②オートフィル ③計算式の使い方
- モノグラムデザイン (Illustrator) : 実習 4コマ
 ①水玉・ストライプ ②オリジナルスウォッチの作成
- DM作成 (Illustrator) : 実習 3コマ
 ①地図の描き方 ②トリムマークと塗り足し ③文字のアウトライン化

評価方法・対象・比重
 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
 特になし

参考図書 特になし

その他資料 使用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018/Microsoft Power Point/Excel

記載者書名欄 飯塚 有葉

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14602	科名	シューズデザイン科2年	単位	2単位
科目コード	600900	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	通年

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションマーケティングへの理解を深める。

マーケットリサーチを行うことで、情報収集・分析・活用を身につけ、感性をファッショングッズ商品に具体的に表現する能力を育成する。

<p>I. オリエンテーション(1コマ)・・・講義</p> <p>① ファッションビジネス概論の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスの変遷とファッションビジネス用語の確認 <p>II. ファッションマーケティング入門(1コマ)・・・講義</p> <p>① ファッションと衣服の関係とデザイナーとファッションビジネス</p> <p>II. 情報活動について(6コマ)・・・講義・演習</p> <p>① 情報活動の位置付けと重要性について 情報の種類について</p> <p>② ファッション情報分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクション作品のトレンド分析及びビジュアルマップの作成・プレゼンテーション <p>III. 市場調査の手法(5コマ)・・・講義・演習</p> <p>① 店頭情報の把握</p> <p>② 商品情報の収集と分析</p> <p>IV. ファッショントレンド予測(6コマ)・・・講義・演習</p> <p>① 1年先のファッション情報を予測する(グループ制作)</p> <p>② 予測情報をビジュアルマップとして制作</p> <p>③ 予測情報のプレゼンテーションを行う</p> <p>V. 新ブランド開発(8コマ)・・・講義・演習</p> <p>① ブランド戦略と意思決定について</p> <p>② ブランド設定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト設定・アイテム計画・デザインマネージメント <p>③ 市場細分化とターゲット分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業運営における市場細分化の意味 ・ライフスタイル分析の手法とプロフィール化 <p>④ プレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの方法について
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>制作物 70% 出席 30%</p>

<p>主要教材図書</p> <p>参考図書 服飾図鑑・ファッション情報誌・ファッションキーワードなど</p> <p>その他資料 図書館・リソースセンター映像ルームコレクション映像など</p>

<p>記載者氏名 澤住 倫子</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード 400400	科目名 西洋服装史	授業期間	半期

担当教員(代表)： 朝日 真	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 古代から現代までの時代背景や美術をふまえ、服飾やバック、靴、帽子、アクセサリーのデザインの流れについて学ぶ。
 また20世紀以降は各時代のデザイン様式、映画、写真、音楽の歴史変遷にも触れ、なおいっそうのファッションへの理解を深める。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- 1、オリエンテーション、世界の民族衣装を見ながら、人間とファッションの関わりをみる。
- 2、古代の美術と服飾
- 3、中世の美術と服飾
- 4、近世ルネサンスの美術と服飾
- 5、近世バロックの美術と服飾
- 6、近世ロココの美術と服飾
- 7、19世紀の美術と服飾(1)
- 8、19世紀の美術と服飾(2) C. F. ワースとフランスモード産業
- 9、1900年代、ベルエポックとアール・ヌーヴォー
- 10、1910年代、ポール・ポワレの時代
 1920年代、アールデコ、シャネル、ヴィオネの活躍
- 11、1930年代、シュールレアリスムとファッション、スキヤパレリ
 1940年代、戦争とファッション、ミリタリーファッション
- 12、1950年代、C. ディオールとニュールック、シャネルの復活
 バレンシアガとジバンシー、オードリー・ヘップバーンのシネマモード
 1960年代、ミニスカートの流行とマリー・クワント
 サンローラン、クレージュ、ピエール・カルダンの活躍、
- 13、1970年代、高田賢三、三宅一世ら日本人デザイナーの活躍
 パンク・ムーブメントとヴィヴィアン・ウエストウッド
- 14、1980年代、川久保玲、山本耀司の活躍、80年代のファッションの概観
 1990年代、マルジェラやガリアーノの活躍、90年代のファッションの概観

評価方法・対象・比重
 レポート提出(50%)、出欠と授業態度(50%)

主要教材図書 文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科 2年	単 位	1単位
科目コード 904620	科目名 キャリア開発Ⅱ(コミュニケーション)	授業期間	前期

担当教員：長谷川直美	共同担当者：
------------	--------

教育目標・レベル設定など

・将来を考えるテーマについて、「聴く」「書く」「話す」などのコミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキルを講義+実習を通して身につけさせる

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 自分のことを伝える・相手のことを理解する
2. キャリア開発について考える
3. 社会人について考える
4. 自分のことを考える(成長目標設定)
5. コミュニケーションスキルの理解と習得
6. コミュニケーションスキルの習得と実践
7. コミュニケーションスキルの実践
8. コミュニケーションスキルの実践
9. 自分の強み発見
10. プレゼンテーションスキル理解と習得
11. プレゼンテーションスキルの習得と実践
12. プレゼンテーションスキルの実践
13. 「半年間で学んだこと」発表
14. 「半年間で学んだこと」発表、まとめ

以 上

評価方法・対象・比重

・出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

記載者署名欄 長谷川直美

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 14602	科名 シューズデザイン科 2年	単位	1単位
科目コード 904720	科目名 キャリア開発Ⅱ (就職対策)	授業期間	後期

担当教員(代表)：杉本 直鴻	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>・学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動の進め方 (…講義1コマ) 企業の採用スケジュールとは、採用活動の後ろ倒しとその影響、就職活動の進め方 2. 言葉遣い (…講義+実習1コマ) 正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話 3. 電話・Eメール (…講義+実習=1コマ) 電話のマナー、Eメールのマナー 4. 会社訪問・店舗見学 (…講義1コマ) 会社訪問・店舗見学、OB・OG訪問、各注意点 5. 履歴書・エントリーシート(…講義+書き方実習=2コマ) 選考を通る履歴書・エントリーシートのポイント 6. 面接 (…講義+実習=2コマ) コミュニケーションスキル向上と試験対策 7. グループディスカッション (…講義+実習=2コマ) コミュニケーションスキル向上と試験対策 8. 作品プレゼンテーション (…講義+実習=3コマ) プレゼンテーションスキル向上と試験対策 9. 内定から入社まで (…講義=1コマ) 内定の意味、誓約書、承諾書、内定式、入社前研修、労働法規の理解 <p style="text-align: right;">全14コマ</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>・出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度</p>
--

<p>主要教材図書 「就職対策 第7版」</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

記載者署名欄

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	2単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)： 山内 祐子 ・ 田中 美登里	共同担当者：
--------------------------	--------

教育目標・レベル設定など
 多方面にわたる講師の講義を通して、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先など

1. コレクション情報	講義	2コマ	講師：萩原 輝美
2. トレンド情報	講義	2コマ	講師：岡村 嘉子
3. スタylingにおけるファッション小物	講義	1コマ	講師：藤 裕美
4. ファッショングッズのクリエイション	講義・実習	2コマ	講師：石澤 彰一
5. 服飾小物における事業展開	講義	1コマ	講師：古茂田 一宏
6. 作品集の制作テクニック	講義・実習	3コマ	講師：服部 あゆみ
7. セレクトされる商品とは?	講義	1コマ	講師：小山 奈々子
8. お金について(人生のデザイン講座)	講義	2コマ	講師：橋本 長明
9. バスケットリー	講義・演習	4コマ	講師：関島 寿子
10. ヒストリカルシューズの世界	講義	1コマ	講師：木口 充恵
11. 靴修理業界について	講義	1コマ	講師：田中 美孝
12. シューズクリエイション	講義	1コマ	講師：前田 陽一
13. ものづくりを仕事にする	講義	1コマ	講師：星野 俊二
14. 健康を考えた既製靴について	講義	1コマ	講師：印南 淳
15. アートフラワー	実習	4コマ	講師：久保田 桂子

評価方法・対象・比重
 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード` 930020	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表): 山内 祐子 ・ 田中 美登里	共同担当者:
--------------------------	--------

教育目標・レベル設定など

企業訪問、工場見学、美術工芸品の見学や歴史的文化にふれることにより、感性を磨き豊かな創造性と深い知識を養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

○企業、工場見学

- ・豊岡かばん企業 1社、ファスナー・金具企業 1社
- ・兵庫県姫路市 タンナー 2社
- ・シューズメーカー
- ・ビーズ工場
- ・帽子企業

○グループ研修

- ・神戸市内

○レポート提出

評価方法・対象・比重

学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14602	科名 シューズデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード 945100	科目名 インターンシップa (自由選択)	授業期間	通年 (自由選択)

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実学を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

○研修先、期間

シューズ業界の企業

1週間～2週間 (受け入れ先企業により異なる)

○研修内容

工場見学

工場実務作業

商品の検品

など、研修内容はそれぞれの企業や現状により組まれる。

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する (出欠、研修報告、レポート)

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 田中 美登里

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14603	科名	シューズデザイン科3年	単位	3単位
科目コード	301321	科目名	シューズデザインⅡA	授業期間	前期

担当教員(代表) : 宮原勝一	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

シューズデザイナーとして即戦力となることを目標に、シューズデザインIで習得した基本スタイルのデザイン理論・技術をもとに、ブーツなどの難易度の高いスタイルやスニーカーなどのデザイン手法を学び、その応用によるオリジナル課題作品の制作を通じて、高品質でオリジナリティーの高いシューズデザイン力を身に付ける。

【授業計画】

1 ブーツ／スニーカーオリジナルデザインの実践

- ・ デザインのファッション性の評価と靴としての機能性の確認。
- ・ デザイン説明書が実際の靴制作を考え、素材や構造を正しく必要な箇所で見えているか。

2 市場調査による時代性とオリジナリティーのバランス

- ・ ブランドの商品開発の流れを理解しながら、顧客より一歩先を行くデザインの発想。

3 国内、海外のコンテストに参加

- ・ コンテストのテーマ・コンセプトなど主催側の意図を掴み、効率的にデザイン発想。
- ・ サンプル制作の場合は、特に機能性や製作可能な構造などにも配慮。

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単位	4単位
科目コード 301322	科目名 シューズデザイン II B	授業期間	後期

担当教員(代表) : 宮原勝一	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

靴業界のアシスタントデザイナーとして即戦力となることを目標に、シューズデザインIで習得した基本スタイルのデザイン理論・技術をもとに、ブーツなどの難易度の高いスタイルやスニーカーなどのデザイン手法を学び、その応用によるオリジナル課題作品の制作を通じて、高品質でオリジナリティーの高いシューズデザイン力を身に付ける。

【授業計画】

1 各自が創作したオリジナルラストを使用したオリジナルシューズの制作。

- ・ オリジナルラスト創作時に決めたテーマ、コンセプトに基づき、デザインに落とし込む。
- ・ ラストの特徴を生かしたデザインコンセプト、アイテムを考える。
- ・ デザインのファッション性と靴としての機能性を高次元でバランスさせる。
- ・ 設計パターンから紙坪、推定歩留まりの演習を行い、製造原価を算出する。
業態別の販売をシュミレーションし、卸価格、上代価格の仕組みを学ぶ

2 商品として販売するバザー作品の制作

- ・ スリッパサンダルの基本型に装飾を施す形でのデザイン提案。
- ・ 足落ち、履き心地、耐久性など品質を考慮した商品開発の実践。
- ・ 自分本位でなく、お客様の視点に立ったわかりやすく好感の持たれるデザイン。

3 市場調査による時代性とオリジナリティーのバランス

- ・ ブランドの商品開発の流れを理解しながら、顧客より一歩先を行くデザインの発想。

4 国内、海外のコンテストに参加

- ・ コンテストのテーマ・コンセプトなど主催側の意図を掴み、効率的にデザイン発想。
- ・ サンプル制作の場合は、特に機能性や製作可能な構造などにも配慮。

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単位	3単位
科目コード 301421	科目名 シューズパターンメイキングⅡA	授業期間	前期

担当教員(代表)：宮原勝一	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

シューズパターンメイキングⅠで習得した基礎的な型紙理論、設計技術を基に、ブーツ、スニーカー、モカシン、モンクストラップなど、より難易度の高い設計方法を学び、将来デザイナー職としても必要なパターンメイキング全般の知識を高める。また設計技術職での就職も視野にオリジナル課題作品の制作などを通じて即戦力になる力を身に付ける。

【授業計画】

- 1 ロングブーツ及びブルーズフィットブーツの基本パターン設計手順の取得
 - ・ バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など。
 - ・ ファスナー部分の構造と設計。
 - ・ ライニングの設計と縫製のまとめ方。
 - ・ 各自、片足トライアルアップパーを制作し釣り込み確認してパターンの修正を行う。
 - ・ 爪先革クリンピングデザインの加工方法とパターン設計。
- 2 各自オリジナルブーツデザインのパターン設計
 - ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・ 各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
- 3 スニーカーの基本パターン設計手順の取得
 - ・ バランスの良いラインの求め方、各部基準寸法、展開方法など
 - ・ ライニングの設計と縫製のまとめ方。
- 4 各自オリジナルスニーカーデザインのパターン設計
 - ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・ 各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
- 5 各自のソールデザインに適した底型設計と加工方法の実践
- 6 敷革のデザイン、素材に合わせ縫製加工方法を検討し、適した紙型設計を行う

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14603	科名	シューズデザイン科3年	単位	4単位
科目コード	301422	科目名	シューズパターンメイキングⅡB	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮原勝一	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

シューズパターンメイキングⅠで習得した基礎的な型紙理論、設計技術を基に、ブーツ、スニーカー、モカシン、モンクストラップなど、より難易度の高い設計方法を学び、将来デザイナー職としても必要なパターンメイキング全般の知識を高める。また設計技術職での就職も視野にオリジナル課題作品の制作などを通じて即戦力になる力を身に付ける。

【授業計画】

- 1 各自オリジナルマイラストを使用した各自オリジナルデザインのアップパーパターン設計
 - ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・ 靴としてのフィッティング、歩行などの機能性。
 - ・ 各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
- 2 卒業制作3点以上の組作品として自由な製法とラストを使用した各自オリジナルデザインのアップパーパターン設計
 - ・ 基本の設計基準を駆使し応用力を養う
 - ・ 靴としてのフィッティング、歩行などの機能性
 - ・ 各自のパターンから靴を製作し、完成度をチェック。
- 3 各自のソールデザインに適した底型設計と加工方法の実践
- 4 敷革のデザイン、素材に合わせ縫製加工方法を検討し、適した紙型設計を行う

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14603	科名	シューズデザイン科3年	単位	3単位
科目コード	301521	科目名	シューズ制作実技ⅡA	授業期間	前期

担当教員(代表) : 宮原勝一	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

シューズ制作実技Ⅰで習得した技術をもとに、より難易度の高いブーツ、加硫スニーカーによるハンドメイキングでの作品制作を通して、それぞれの靴製作工程での重要な品質のポイントを理解し、靴業界に就職後に必要な品質を見極める力を身に付ける。また靴メーカー生産技術職への就職にも対応できる基本的な製靴技術を習得する。

【授業計画】

- 1 ブーツオリジナル作品の制作実習（ゲットイヤー製法）

※機械縫い工程（掬い縫い、出し縫い）は、学校内に機械設備が無い場合、浅草の渡辺加工所にその都度依頼する。

 - (1) 自由選択ラストによる各自オリジナルパターン設計
 - (2) トライアルアッパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。
 - (3) アッパー製作（材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ）
 - (4) 先芯、月形芯の加工
 - (5) 中底の素材と加工方法
 - (6) 釣込み（ハンドラスティング）、起毛作業
 - (7) 掬い縫い～協力企業
 - (8) 底付け
 - (9) 出し縫い～協力企業
 - (10) 敷革の加工
 - (11) 最終仕上げ
- 2 スニーカーオリジナル作品の制作実習（バルカナイズ製法）

※アルミラスト、ゴム材料、加硫工程の機械設備が無い場合、岡山県の日進ゴム株式会社の協力のもと制作する。

 - (1) 指定ラスト（コンバースタイプ、足袋タイプ、オブリークタイプ）からの選択による各自オリジナルパターン設計
 - (2) トライアルアッパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。
 - (3) アッパー製作（材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ）
 - (4) 先芯ゴム、月形芯の加工
 - (5) 中底の素材と加工方法
 - (6) 釣込み（ハンドラスティング）、起毛作業
 - (7) 底付け、コバ加工
 - (8) 加硫～協力工場
 - (9) 敷革の加工
 - (10) 最終仕上げ

【評価方法】

S～C・F評価 実技試験、課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、必要に応じて教員制作のプリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単位	4単位
科目コード 301522	科目名 シューズ制作実技ⅡB	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮原勝一	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

シューズ制作実技Ⅰで習得した技術をもとに、より難易度の高いブーツ、加硫スニーカーによるハンドメイキングでの作品制作を通して、それぞれの靴製作工程での重要な品質のポイントを理解し、靴業界に就職後に必要な品質を見極める力を身に付ける。また靴メーカー生産技術職への就職にも対応できる基本的な製靴技術を習得する。

【授業計画】

1. 自作オリジナルラストによるオリジナルシューズ作品1点の制作

各自オリジナルパターン設計後、トライアルアップパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。

- (1) アップパー製作(材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ)
- (2) 先芯、月形芯の加工
- (3) 中底の素材と加工方法
- (4) 釣込み(ハンドラスティング)、起毛作業
- (5) 底付け、コバ加工
- (6) 敷革の加工
- (7) 最終仕上げ

2. 卒業制作として自由にラスト、製法を選択しオリジナルシューズ3点以上の組作品の制作。

各自オリジナルパターン設計後、トライアルアップパーを製作し仮釣込みでチェックを行い、パターン修正。

- (1) アップパー製作(材料の裁断、スキ加工、縫製製甲まとめ)
- (2) 先芯、月形芯の加工
- (3) 中底の素材と加工方法
- (4) 釣込み(ハンドラスティング)、起毛作業
- (5) 底付け、コバ加工
自由な製法の選択による
- (6) 敷革の加工
- (7) 最終仕上げ

【評価方法】

S~C・F評価 実技試験、課題作品での評価(80%) / 出欠席、授業態度の評価(20%)

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、必要に応じて教員制作のプリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単位	2単位
科目コード 301620	科目名 シューズ造形Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：宮原勝一	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

シューズ造形Ⅰで学んできた様々な造形の表現力をもとに、究極の立体造形であり靴で最も重要な道具であるラスト(靴型)のオリジナル制作をラスト工場の協力も得て学んでいく。シューズデザイナーとして必要なラスト、モールドソールなどの立体造形の感性を高め、また将来モデリスト(ラスト職人)などの職種への道にも繋げていく。

【授業計画】

オリジナルラストの制作

- (1) 二人一組で各自の足型計測を行い、形状の特徴と各部の寸法を計測用紙に記録する。
- (2) 得られた計測数値からJISサイズ換算表よりサイズ・ウィズ表示を求める。
- (3) 紳士、婦人各5種類(スタイル・ヒール高さ別)のベースラストから各自が選択する。
- (4) ラストメーカーに片足/木製/甲切り/爪先残しで木型を作製依頼する。
- (5) オリジナルシューズ制作のテーマ・コンセプトに基づくデザインスケッチから爪先スタイルを決める。
- (6) 木型を加工しオリジナルラストのマスターモデルを制作。(パテ、各種ヤスリ・ペーパーの指導)
※特別講義・・・シューズラストプランニング 伊藤博通
- (7) 片足のみの足入れチェック用仮縫いサンプルを制作する。(パターン設計、裁断、製甲、底加工、底付け)
- (8) 足入れを確認し、再度木型を修正する。
- (9) 最終仕上げペーパーで完成後、ボールガーズの寸法を木型に記し、マスターモデルの完成。
- (10) ラストメーカーにマスターモデルを送り、製造用プラスチックラストを作製依頼。
- (11) 完成した製造用ラストで、後期シューズカリキュラムの中で、オリジナルシューズ作品をデザイン、設計、製作を行う。

※特別講義 12コマ 伊藤博通(シューズラストプランニング代表) マスタモデル削りの講義と技術指導。

【評価方法】

S~C・F評価 課題作品での評価(80%) / 出欠席、授業態度の評価(20%)

主要教材図書 文化ファッション体系ファッション工芸講座シューズデザイン、プリント配布

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単 位	2単位
科目コード 605400	科目名 シューズマーチャンドライジング	授業期間	通年

担当教員(代表) : 渡辺 裕	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

靴業界における開発から生産・販売までの様々な職種についての講義と合わせて、グループワークによる商品化計画（マーチャンドライジング）作成を通して商品開発業務を仮体験することにより、靴業界の商品開発から販売までの流れを学ぶ。商品化計画にあたり必要な製品仕様書、デザイン画（あるいは実物）、販売促進案などを作ることにより実践的な仕事の感覚を知る。

【授業計画】

1 靴業界における様々な職種

靴の開発～小売販売までの、いくつかの流通のスタイルの講義を通じ理解する。

さらに製造も含む流通過程にある様々な職種について掘り下げて解説することにより、

靴業界の様々な職業への関心を高める。

実際に郊外授業で靴業界の様々な職種の会社見学を行う。

2 マーチャンドライジング（商品化計画）を仮体験

クラスを数グループに分け「靴会社」の運営シュミレーションを行う。

この演習を通じ、上記1で行う講義の主な職種を仮体験することにより、実践的な仕事の感覚を知る。

商品化にあたり必要な製品仕様書、デザイン画（もしくは現物）、販売促進案などを作り、最終的に各グループの商品プレゼンテーションを行う。

【評価方法】

S～C・F評価

筆記試験、グループワーク、プレゼンテーションでの評価（80%） / 出欠席、業態度の評価（20%）

主要教材図書

渡辺作成プリント(レジュメ)

参考図書

その他資料

記載者書指名 渡辺 裕

科コード 14603	科名 シューズデザイン科	3年	単位	1単位
科目コード 501420	科目名 シューズデザイン画 II		授業期間	前期

担当教員(代表) : 河西 恵美子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>シューズデザインワークの上で即戦力として使えるデザイン画を習得。就職活動に活用できるポートフォリオ(作品集)作成、及び創作デザインの企画構成力を目指して。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>[ポートフォリオ(作品集)] …9.5コマ</p> <p>●マイコレクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・・・個々の「作品集」を学習経過の実物作品を主体として、資料を効果的にまとめ、就職活動のプレゼン用の一端を担うよう、発表実習も行う。 ・テーマ設定 ・コンセプト ・イメージマップ ・彩色デザイン画 ・製品図仕様書 ・アイテムバリエーション ・独自のアピールポイントなどを取り入れた構成に。 (デザインと構成、表現内容の工夫や展開スタイルなどを強化) <p>[創作デザイン] …3.5コマ</p> <p>●コンテスト応募作品</p> <p>●素材研究企画デザイン</p>

<p>評価方法・対象・比重 [S～C・F評価]</p> <p>評価基準：学業評価 80% (課題作品提出物と前期末試験)、授業姿勢 20% (出欠状況, 授業態度を考慮)</p>

<p>主要教材図書</p> <p>参考図書</p> <p>その他資料 ファッション雑誌、著名アーティスト作品写真、素材関係等</p>
--

<p>記載者書名欄 河西 恵美子</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科 3年	単 位	2単位
科目コード 500350	科目名 デザインディレクション	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 津村 耕佑	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1つのパーツから繋がり様々な形に変化する事は生命が細胞の集まりだという事と同じである。
 自分の好きな形を1つ決める。幾何学的でクールな形でも有機的な形でもOK! サイズや厚み素材、色は自由。
 その形だけを使ってバッグ、靴、帽子、アクセサリを作る。余裕があれば服まで制作も構わない。
 それらの作品を記録し自分のブランドとして冊子を作り、展示方法を考えていく。

【授業計画】

- | | |
|-----------------|------|
| ・ 授業概要説明、自己紹介 | 2コマ |
| ・ デザイン、制作 | 12コマ |
| ・ 作品プレゼン | 2コマ |
| ・ ポスター制作 | 6コマ |
| ・ 展示準備、シミュレーション | 4コマ |
| ・ 展示、講評会 | 2コマ |

【評価方法】

S~C・F評価 学業評価 80% 、 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

記載者氏名	津村 耕佑
-------	-------

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科 3年	単位	1単位
科目コード 700400	科目名 ファブリックスカルプチャー	授業期間	前期

担当教員(代表): 柴田 優香	共同担当者:
--------------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・作品を演出するための表現方法の1つとして生地での演出方法を学びVPに活かす。
- ・「作品」を「商品」として捉えることでよりビジネスに近い提案方法を実践する。
- ・VPの社会的な役割を理解し、コンセプトやイメージに基づいたプランニング～実行までの作業を行う。

【授業計画】

コマ	内容	コマ	内容
1	・授業内容説明・実習室説明	16	
2	・ピンワーク（アンピエ・ドゥブルピエ）	17	
3	・ピンワーク（ドレープ・ギャザリング・タッキング）	18	
4	↓ 5つの手法を使用して演習→ ★評価	19	
5	・VP個人演習（課題説明・参考画像・サンプル説明）	20	
6	↓ プランニング	21	
7	↓ 演習	22	
8	↓ ★評価	23	
9	・VPグループ演習（課題説明・参考画像・サンプル説明）	24	
10	↓ プランニング（コンセプト・イメージetc）	25	
11	↓ 演出小道具準備	26	
12	↓ 演出小道具準備	27	
13	↓ 演習	28	
14	↓ ★評価	29	
15		30	

【評価方法】

- ①完成作品 ②コンセプトシート（VPグループ演習のみ） ③授業態度 ④出欠状況 総合的に評価

主要教材図書

参考図書 inspiration、ディスプレイ年間

その他資料 オリジナルPowerPoint、画像

記載者氏名 柴田 優香

科コード 14603	科名 シューズデザイン科 3年	単位	1単位
科目コード 201300	科目名 染色・プリント技法	授業期間	前期

担当教員(代表) : 太田 繁/杉山 美和	共同担当者 :
-----------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>バック・シューズ制作の新たな発想の手がかりとなるよう、何種類かの染色・加工法を抜粋し指導する。</p> <p>その基本的な知識と技法を実習をとおして習得させる。</p>

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p><テーマ</p> <p>1. 染色概論 (1) 染料の歴史、染料の種類について 染料と繊維の適正、染料と繊維の結合について 原毛染色 (1) 酸性染料による原毛染色 (フェルト加工に使用)</p> <p>2. フェルト加工 (2) 原毛による素材作り 羊毛の縮絨について</p> <p>3. フェルト加工Ⅱ (2) フェルト製作 仕上げについて</p> <p>4. 型紙捺染 (2) 捺染(プリント)について</p> <p>5. 型紙捺染Ⅱ (2) 型染め・顔料樹脂染料によるプリント 染料と顔料の違いについて</p> <p>6. スクリーンプリント (2) スクリーンプリントのプロセスについて 型染めとの違い・スクリーンプリントの種類について</p> <p>7. スクリーンプリントⅡ (1. 5) 各自のデザインをプリント 乾燥後の仕上げ、ペーキングについての必要性やクリーニングの注意点</p> <p>総論・まとめ (0. 5) 授業を通してのまとめ 学んだ知識、技法についての理解と認識の確認 質疑応答</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>① 学業評価 80% 授業姿勢 20%</p>
--

<p>主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論</p> <p>参考図書</p> <p>その他資料 DVD 型染め シルクスクリーンについて</p>

<p>記載者書名欄 太田 繁</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 14603	科名 シューズデザイン科3年	単 位	1単位
科目コード` 504500	科目名 コンピュータワーク	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ol style="list-style-type: none"> Word の操作方法を習得し、ビジネス文書の作成力を身につける。 Excel の操作方法を習得し、関数や計算式を利用して効率よくデータを分析する力を身につける。

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ol style="list-style-type: none"> Word の基本操作 : 3コマ 社内文書の作成 表付き文書の作成 : 2コマ Excel の基本操作・発注書・請求書の作成 : 4コマ Excel の数式・関数について : 4コマ 売上表の作成と集計 グラフの作成について : 2コマ

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>学業評価 60%、授業姿勢 40%</p>
--

<p>主要教材図書 プリント</p>

<p>参考図書</p>

<p>その他資料用ソフト Microsoft Word2016/Excel2016</p>

<p>記載者書名欄 飯塚 有葉</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14603	科名	シューズデザイン科3年	単位	2単位
科目コード	900100	科目名	英会話（自由選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：薩田 須美子	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

初歩の英文法を学習している学生対象のコース。ファッション関係のトピックを中心に英語表現に慣れ、初歩の会話の運用ができるようになる事を目指す。

1	オリエンテーション/自己紹介
2	自己紹介
3	時刻
4	過去形の復習 頻度
5	
6	現在と予定
7	
8	趣味・パーソナリティー
9	位置を表す前置詞
10	自分の住んでいる所
11	
12	道案内
13	夏休み
14	ファッション (1)
15	アイテムの英語表現
16	ファッション (2)

17	色・柄の英語表現
18	ファッション (3) 素材の英語表現
19	Halloween
20	ファッション (4) ボディー・パート
21	ファッション (5)
22	コーディネート
23	ファッション (6) 形容詞
24	Christmas
25	年頭の誓い
26	
27	店頭にて

評価方法・対象・比重

出席点 (40%)、小テスト(30%)、オーラル・プレゼンテーション・ライティング (30%) を総合的に評価する。

主要教材図書	“English for Fashion Students”	Bunka Fashion College
	“English Phrases for Fashion Students”	Bunka Fashion College

記載者氏名 薩田 須美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科	3年	単位	2単位
科目コード 980030	科目名 特別講義 Ⅲ		授業期間	通年

担当教員(代表) : 宮原勝一・菊池明子・大工原睦	共同担当者 :
---------------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション全般に渡る、トレンド情報やプロダクトデザイン。また、グッズに関わるクリエイターや企業デザイナーの仕事。特殊材料やその活用方法などの、多方面にわたる講師による講義や演習を通し、専門科目のより一層の充実を図ることを目標とする。

【授業計画】

1. コレクション情報	講師 : 萩原 輝美	・講義	2コマ
2. 卒業一年前から意識しておきたいこと	講師 : 山地 保	・講義	1コマ
3. 毛皮について	講師 : 梨本 チエコ	・講義	2コマ
4. 皮革のメンテナンス	講師 : 静 孝一郎	・講義	1コマ
5. 靴業界で生きる	講師 : 大谷 知子	・講義	1コマ
6. 職人魂の靴ブランド展開	講師 : 徳永 勝也	・講義	1コマ
7. 靴型の設計と制作	講師 : 伊藤 博通	・講義	12コマ
8. 手縫い靴の職人技	講師 : 常世田 哲	・講義	10コマ

* 1～6は、帽子・ジュエリー、バッグ、シューズデザイン科3年合同

【評価方法】	出欠席 70%	レポート 30%
--------	---------	----------

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名	宮原勝一	菊池明子	大工原睦
-------	------	------	------

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単位	1単位
科目コード 945200	科目名 インターンシップb(自由選択)	授業期間	通年(自由選択)

担当教員(代表): 宮原勝一	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

就業体験を通して、実践の現場から業界の仕事の内容を確認し、働くことの厳しさや社会人としてのマナーを身につけると共に、希望する業種、職種と合致しているかを確認し、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

①研修先

シューズ業界の各業種(販売会社、卸問屋、メーカーなど)

企画デザイン、設計、制作、生産管理、販売などの職種。

②期間

1週間～2週間(春休み、夏休み)

②研修内容

実務作業の体験(企画デザイン、設計、制作、生産管理、販売など)

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】

P 評価

出欠、研修報告、レポート

※学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14603	科名 シューズデザイン科3年	単位	4単位
科目コード 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：宮原勝一	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標、レベル設定】

卒業作品として各自コンセプト、テーマを考え、3年間学んできたデザイン、パターン、製靴技術を駆使し、オリジナルシューズ作品3足以上の組作品として制作する。帽子・ジュエリー、バッグ科との3科合同で学生が企画する卒業作品展示にて決められたスペースに作品のテーマが伝わるよう各自がディスプレイし期間中、お客様に作品説明を行うまでを体験することで、将来デザイナーとして展示会、発注会などでコンセプト、作品の売りをお客様に伝えるスキルと重要性を学ぶ。作品のコンセプト、テーマ、制作日程管理、作品の完成度、卒業作品展示会での貢献度も評価とする。

【授業計画】

(1) 卒業作品展での自分のテーマ、コンセプトのレポート作成。

- 靴以外のブースのディスプレイまでイメージを確立する。

(2) テーマ、コンセプトに沿ったデザインスケッチの作成。

- ブース内のバランスを考えてサンダル、ブーツ、短靴、パンプス、紳士/婦人など作品構成を絞り込む。
- 個々の素材、色、サイズも全体のイメージから決めていく。

(3) 作品の制作（設計、裁断、製甲、底加工、釣込み、底付け、仕上げ）

- 卒業作品提出点数～3点以上。

(4) ディスプレイブースの制作

- クラスで決めたブースの規格条件に合わせ各自、テーマに合わせた装飾を行う。

評価方法・対象・比重

課題作品での評価（80%）／ 出欠席、授業態度の評価（20%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 宮原勝一